

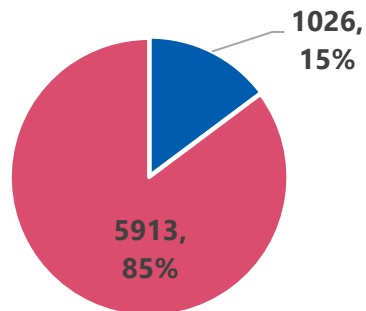
# 令和5年度外来機能報告結果について

- 令和5年度の外來機能報告では、病院は6,939施設（報告率：99%）、有床診療所は5,066施設（報告率：95%）から報告があり、全体としての報告率は97%であった。また、無床診療所の報告医療機関数は、32施設であった。
- そのうち、紹介受診重点外來の基準※<sup>1</sup>への該当状況は以下のとおり。

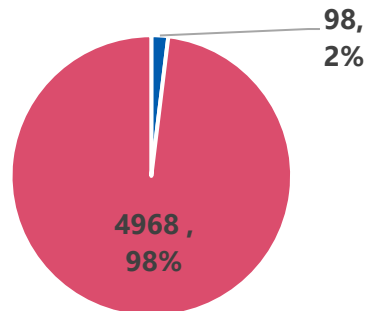
## 紹介受診重点外來の基準への該当状況

■基準を満たす ■基準を満たさない

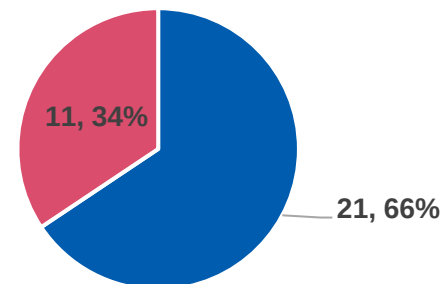
病院（n=6,939）



有床診療所（n=5,066）

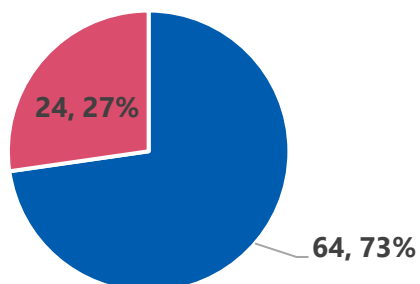


無床診療所※<sup>2</sup>（n=32）

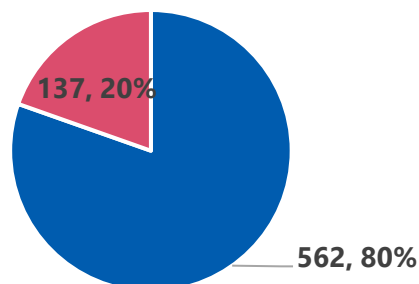


## 特定機能病院及び地域医療支援病院の基準への該当状況

特定機能病院（n=88）



地域医療支援病院（n=699）



- 「紹介受診重点外來」とは、次のいずれかの外來
- 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外來（悪性腫瘍手術の前後の外來など）
  - 高額等の医療機器・設備を必要とする外來（外來化学療法、外來放射線治療など）
  - 特定の領域に特化した機能を有する外來（紹介患者に対する外來など）

※<sup>1</sup> 紹介受診重点外來の基準：  
・初診基準：40%以上（初診の外來件数のうち「紹介受診重点外來」の件数の占める割合）かつ  
・再診基準：25%以上（再診の外來件数のうち「紹介受診重点外來」の件数の占める割合）  
※<sup>2</sup> 外來機能報告を行う意向を示し、外來機能報告を行った無床診療所

（出典）令和5年度外來機能報告  
※ 報告様式1及び2を報告している医療機関を対象に集計。  
※ 令和5年10月時点における特定機能病院及び地域医療支援病院（地域医療計画課調べ）に基づく集計。